

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	林業用施設単独災害復旧事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課	
		予算科目	11 款 1 項 2 目	事業番号	5231	所属長名	向井裕臣
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	堀内英幸
法令根拠等	0					【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造					実施期間	【終了】 平成 年度（予定） ☒ 設定なし
	持続的な林業・水産業の振興						
総合計画における本事業の役割	持続的な林業・水産業の振興						
事業の対象	林業者等（受益者）		事業の目的	被災箇所への復旧を行い、林道の機能回復を図る。			
事業の内容（整備内容）	林道の機能回復		昨年度の課題に対する具体的な改善策	被災箇所の地元関係者と利用制限等について連絡を密にし、早期復旧を行うことが重要である。			

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28年度実績	29年度予定	9月末の実績	29年度実績
直接事業費		740	0	5,900	0	0	5,424	復旧件数	件	6	0	0	17
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
一般財源		740	0	5,900	0	0	5,424						
職員の人工（にんく）数		0.07	0.21				0.21						
1人当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		1,306	1,684				7,108						
主な実施主体				実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5年間の合計		
											0		
成果指標	指標	実施事業量÷被災事業量				単位	⇒	区分年度	28年度	29年度	30年度	目標	毎年度
						%		目標					
	指標設定の考え方	被災事業量に対する実施事業量の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。						実績					
	指標で表せない効果												

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）		市管理林道全線について早期に巡回し、被災状況の把握に努める必要がある。									
事業 <											

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
			台風18号では林道施設の被災さえも調査不足の場合がある。森林組合、プロシーズなどの協力を得て災害発生個所の把握に努めること。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。
	☐	現状のまま継続する。	
	☒	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	